

こぼれ話

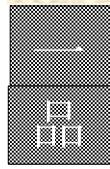
新型コロナ感染対策とそれに関する支援策を巡って、様々な給付金などの申請が連続している。商工業者を中心にその申請に必要な帳簿、売上帳などの整理、確認が行われている。

あるお店ではそうした帳簿類の記帳作業のほとんどは奥さんがやっていたし、いまもそうだ。今回も国の持続化給付金のオンラインによる申請が

行われている。夫は妻の記帳作業の仕方などに日頃から感心し、信頼を寄せ「おめえさんがいねえばこの店はやっていげねえが」と感謝の言葉を口にしていた。が妻は「(少すぐれえ手伝つたら)」と思っていた。

今回の申請も夫は傍で見ながら「ところで母ちゃんは何級だった？」と誉めながら尋ねた。妻は少しイラッとしたが「2級！」と答え、返す刀で「そういうあんたは何級だえ？」と聞いた。夫「ノーサンキュー」と。

わが家の



「丸ごと玉ねぎスープ」

【材料】玉ねぎ、ベーコン、コンソメ、黒コショウ、オリーブオイル、パセリ。

「つくり方」玉ねぎ丸ごとスープはどうでしょうか。旬の玉ねぎはサラダでよし、炒め物でよし、そして丸ごとスープはと



ても美味しいですね。しかも料理は簡単です

よね。①玉ねぎは皮をむいてラップに包んでレンジで約5分ほど過熱します。ベーコンは細めの短冊に切っておきます。②鍋にオイルを少し入れベーコンを炒めます。そこに水とコンソメを加え、さらにレンジで加熱した玉ねぎを入れて沸騰させます。③玉ねぎに火が通ったかを確かめ、味も確かめます。④器に盛り付けて黒こしょうをふりかけて完成です。最近初夏を思わせる天候ですが、この玉ねぎスープで元気を取りましょう。

(鉄ヶ崎/S・T)

続コロナ対策

4月28日以降誕生の子どもにも10万円支給等計上

6月議会に1億4317万円の補正が

6月8日開会の定例会に新型コロナウイルス対策の補正予算案が示されました。総額1億4317万円で15日の予算委員会が審議に付され、18日(木)本会議で議決予定です。提案されているいくつかの内容を紹介します。

市単独で定額10万円給付は県内2番目の施策

国の特別定額給付金10万円の対象外だった4月28日以降に生まれのことも、市単独で支給するものでも、支給対象人数は300人で、補正予算額は3000万円です。

いろいろな方から「なんで28日以降に誕生する子供を対象にするの？」という疑問と要望が寄せ

られています。市の判断は子育て支援と言う意味でも至極当然であり、多くの関係者から歓迎されます。しかし国は27日生まれまでが対象という方針を変えていません。また県内市町村ではすでに久慈市が決めており宮古市は一番目となります。

18歳以下の子供一人5000円の商品券配布へ

さらに子育て支援、区内経済循環を図るために18歳以下の子供一人当たり5000円相当の商品券を配布します。このほかにも森林環境譲与税を活用し、森林経営管理に必要な航空レーザー計測・空中写真撮影業務事業の進捗を図る事業等が計上されています。

新型コロナ感染対策の補正はすでに4月28日、5月25日の臨時会で議決し、今6月定例会でいわば第3次の補正となります。



読者の文芸欄

短歌

金沢邦臣(田鏡)

●道ばたの小さき黄の花がざらんと手折れば白蝶舞いてつきくぬ

●山に採りにもはや行けざる吾なれば店の蔵にこつと手を触る

●自注/さわやか五月の自然に誘われ、毎年山に採りに行っていました。したがもう行けなくて、店などで触って懐かしお私です。

宮古の無電柱化推進は今年度から令和11年度末が計画期間に

事業中と6年度までに6箇所



●本町、向町(市道新川町保久田線)0.20km、となっています。

電線管理者や地域住民との協議を踏まえて推進へ

都市計画課によれば、この無電柱化事業推進に当たっては当然、電線管理者や地域住民、地権者との協議を踏まえて推進するとしています。

●電線共同溝方式(電気、電話等を束にして埋設するための)について車両通行との整合性を事前に検討する。●地上機器の設置に空き地等を想定しているが、地権者との協議、合意を丁寧に行うように意見を述べました。

都市計画課はこの無電柱化について、この間の実験調査の結果と今日の指摘、意見も踏まえ推進するとしています。

平成28年度に「無電柱化推進に関する法律」が施行され、これに基づいて県や市は基本的な目標や施策を定めました。その概要が産業建設常任委員会に示されました。現在事業中と令和6年度までの計画候補路線は①現在事業が行われているのは●磯鶏(国道45)の0.07km。●藤原(〃)の0.50km。●末広町、大通り1丁目(市道末広線)の0.47km。②令和6年度までに事業着手の計画は●栄町、末広町(県道停車場線)の0.10km。●大通り1丁目(市道末広線)の0.13km。



「から揚げにビールす。やや良いがえ」。やや？

カゲロウの幼虫が羽化し水面をフラフラと飛び回っています。朝夕の渓流水面の表情は幻想的です。この飛び回っているカゲロウをヤマメは水中から飛び出して捕食します。幼虫は当然川の中にいて大きめの岩をよじ登り羽化します。

このカゲロウの幼虫の中でとくにヤマメの喰いのいいのがチョロ虫です。これを使えば釣果が増えること間違いなし。

市内の釣り吉二人は6月6日(土)早朝、撰待川に入る。まずチョロ虫を採捕する。当然タオルで。タオルに10匹前後のチョロ虫をおき、2匹掛けてヤマメを誘う。普通サイズだが数は出た。午後3時収竿。ヤマメ15尾。

